

ミサイルよりもケアを

社会保障は、自由を支え、あなたの未来を守るセーフティネット
患者さんや利用者が守られ、ケア労働者の賃金も上がる社会を実現しよう！

無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす民医連は、7月の参議院選挙にあたり「民医連の要求」を発表しました。「生きることが苦しい社会」をどう変えていくか一緒に考えていきましょう。



政府は2025年度予算案に、現役世代の医療保険料負担を減らすとして高額療養費の上限額引き上げを盛り込みました。しかし、がんの患者さんや多くの人々が反対の声をあげ凍結させました。平均的な年収区分の約370万～770万の場合、現行の上限額約8万円が最終的には約13万9千円もの負担増。子育て中で学費などの負担も大きい現役世代の患者にとっては、治療そのものを断念する事態に追い込まれるような内容でした。病気になったときの安心のための制度なのに、政府はこの上限額引き上げによる受診抑制で2270億円削減できると見込んでいました。一方、防衛費は前年度から7500億円増の8兆7千億円。“いのちより軍拡”、こんな今の政治、どう考えますか？

なぜ、生きることがこんなにも苦しい社会になっているのでしょうか？

- 物価高、重い奨学金返済、高家賃・住宅ローン
- 子育て・子どもの教育、親の介護、自分の健康問題の負担と不安
- 病気になったり、介護が必要になったりした時の経済的な負担や生活困難、不安増大
- ケア労働者の低賃金、わたしたちが働く医療や介護の事業所の経営困難
- 外国人が増えると困る？仮放免では働くはず受診もできない外国人の人権
- 社会や政治に自由に意見を述べることが躊躇される空気



苦しさの原因はあなたの責任ではなく、政治の問題ではないでしょうか？

- いき過ぎた市場主義で、なんでも自己責任にする社会

政治と社会をつくり変えることはできる？ さあ、主権者として投票へ

憲法を生かした政治で、一人ひとりが大切にされ自由な社会の実現をめざせます。
あなたはどう考えます？



- 9条 一息ついて考えよう 本当に軍事費増やしている場合？
暮らしや社会保障、教育にもっとお金を
- 13条、14条 やっぱり大事自分らしく生きること！
働き方、ジェンダー平等、選択的夫婦別姓、LGBTQ
- 25条 必要な人に必要な医療と介護って 当たり前じゃない！
診療報酬・介護報酬の大幅引き上げ、ケア労働者の賃上げ・増員、医療と介護・福祉の提供体制の充実
- 気候温暖化、災害の頻発 今、岐路に立っている私たちにできることは？
エネルギー政策、原発政策、農業・食糧自給率

2025年参議院選挙は7月までに行われます。今、新自由主義の政治・経済のもとで貧困と格差が拡大し、アメリカとともに戦争する準備がすすんでいます。全日本民医連は、日本国憲法に基づき「平和・人権・ジェンダー平等、人権としての社会保障、ケアを大切にする社会」をめざして、参議院選挙にあたり「民医連の

要求」を発表します。ケアを大切にする社会は、充実した社会保障でいのちやくらしを守り、誰もが自由に安心して生きていける社会です。また、所得再分配機能を取り戻し、格差の是正や経済安定化に寄与します。そして、極端な自己責任論から人々を解放し社会の分断を乗り越える力にもなります。

全日本民医連 2025年参議院選挙「民医連の要求」

大軍拡をやめ、ケアへ予算を！ | 物価高騰からいのちとくらしを守る緊急政策の実施を

いのちとくらしを守る政策を最優先とし、財源は大企業や富裕層への課税強化と、膨張する軍事費の削減を



憲法9条を生かし平和な世界の実現を

- いのちを脅かす軍事予算をただちに削減し、社会保障費にまわすこと
- 核兵器禁止条約を批准し、日本が核兵器廃絶に先頭に立つこと



消費税ゼロをめざし、まず消費税率を5%以下に引き下げる



社会保障費を増やし、医療や介護・福祉のセーフティネットでいのちと健康を守る

- 診療報酬・介護報酬の期中改定で危機にある医療・介護の提供体制を守り、すべての人々にアクセス権を保障
- 国の責任でケア労働者の賃上げと人員不足の解消。医療・介護の拡充でケア労働の雇用創出、経済波及効果により地域経済を活性化する
- 高額療養費の上限額の引き上げ白紙撤回
- 医療や介護、障がい福祉サービスの一部負担金を軽減。保険料は応能負担に
- マイナ保険証の強制をやめ従来の保険証復活
- 年金、生活保護基準を引き上げる



早急な物価対策、米の価格高騰を解消する

- 生活困窮者に米を提供する
- 米の安定供給を保障する抜本的政策転換を行う



子ども・子育て、若者への政策・支援を強める

- 医療費を18歳まで無料にする。子どもの国保料をゼロにする
- 保育料、学校給食、高校・高等教育を無償化する
- 奨学金は給付型とし、既存の奨学生返済を軽減する
- 家賃を補助する



国連の女性差別撤廃委員会の勧告を受けとめ、いまこそジェンダー平等を実現する

- 選択的夫婦別姓、同性婚の実現
- SRHR(セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ:性と生殖に関する健康と権利)の保障
- 性的指向と性自認に基づく差別や排除の禁止、包括的な性教育の推進

私の要求

大軍拡をやめて
ケアに予算を！

選挙で主権者の
意志を示そう！



全日本民主医療機関連合会

〒113-8465 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7F

TEL. 03-5842-6451

FAX. 03-5842-6460

「民医連の要求」
全文は[こちら](#)

